

第 1 章 地球温暖化とは

1 地球温暖化の要因

図表1-1-1	地球温暖化のメカニズム	16
図表1-1-2	温室効果ガスの特徴	16
図表1-1-3	温室効果ガスによる地球温暖化への寄与度	17
図表1-1-4	地球を暖める放射強制力	17
図表1-1-5	温室効果ガス等による放射強制力の推移	18
図表1-1-6	大気中二酸化炭素CO ₂ 濃度と人為的排出量 (1950年～2009年)	18
図表1-1-7	地球上の炭素循環と収支の推定 (1990年の平均)	18

2 温暖化がもたらす影響

図表1-2-1	観測された変化と予測	19
図表1-2-2	世界平均気温の上昇による主要な影響	19
図表1-2-3	世界平均気温の変化により予測される影響	20
図表1-2-4	地球温暖化による地域ごとの農業生産等への 影響	20

3 世界の温暖化現状

図表1-3-1	世界の人為起源温室効果ガスの排出量推移 (1970～2004年)	21
図表1-3-2	2006年の主要な温室効果ガスの世界平均濃 度と長期変化傾向	21
図表1-3-3	世界国別のGDP生産あたり温室効果ガス排 出量の分布(2004年)	21
図表1-3-4	世界国別の一人あたり温室効果ガス排出量の 分布(2004年)	21
図表1-3-5	人為起源温室効果ガス総排出量の内訳(CO ₂ 換算ベース)(2004年)	22
図表1-3-6	人為起源の温室効果ガス総排出量の部門別内 訳(CO ₂ 換算ベース)(2004年)	22
図表1-3-7	世界国別の二酸化炭素CO ₂ 排出量(2008年)	22
図表1-3-8	国別一人当たり二酸化炭素CO ₂ 排出量 (2008年)	22

4 地球温暖化問題の経緯

図表1-4-1	地球温暖化に関する世界年表	23
図表1-4-2	気候変動枠組条約(UNFCCC)の概要	23
図表1-4-3	気候変動枠組条約および京都議定書の批准国	24
図表1-4-4	京都議定書の要点	25
図表1-4-5	京都議定書における各国の排出抑制・削減目 標	25
図表1-4-6	京都議定書目標達成計画における排出抑制・ 吸収量の目標内訳	25
図表1-4-7	気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の概 要	26
図表1-4-8	温室効果ガス別排出量の算定対象	26
図表1-4-9	森林吸収源対策の概要	27
図表1-4-10	京都メカニズムの概要	27
図表1-4-11	京都議定書の署名国と締結国	28
図表1-4-12	京都議定書達成目標値と達成状況	29

5 世界の環境関連データ

環境省 総合環境統計局「環境統計集」

図表1-5-1	主要国の社会経済・環境関連データ	30
---------	------------------	----

6 地球温暖化の影響

環境省「STOP THE 温暖化2008」

図表1-6-1	世界平均気温の上昇	34
図表1-6-2	世界平均海面水位の上昇	34
図表1-6-3	グリーンランド氷床の減少 (2002年4月～2006年4月)	34
図表1-6-4	海面上昇の上昇率とその要因の推定	34
図表1-6-5	温室効果のメカニズム	35
図表1-6-6	ドームふじ基地の氷床コアより得られた過去 34万年にわたる気温変化	35
図表1-6-7	世界各地の異常気象による災害	35
図表1-6-8	大陸別の平均気温の変化(1906～2005年)	36
図表1-6-9	世界平均気温と世界平均海面水位の予測 (1980-1999年と比較した気温上昇)	36
図表1-6-10	放射強制力の構成(1750～2005年)	37
図表1-6-11	氷床コアと現代のデータによる二酸化炭素濃 度の変化	37
図表1-6-12	日本の夏季(6・7・8月)の豪雨日数の変化	37
図表1-6-13	気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加	37
図表1-6-14	オーストラリア小麦の生産量・輸出量と輸出 価格の推移	37

第2章 温室効果ガスの数値データ

1 京都議定書対象6種類の温室効果ガス

図表2-1-1	日本の温室効果ガス総排出量	48
図表2-1-2	温室効果ガスの総排出量	48
図表2-1-3	温室効果ガス排出量の割合(2008年度と2009年度速報値との比較)	48
図表2-1-4	京都議定書の対象となっている温室総排出量の推移(1990~2009年)	49
図表2-1-5	各分野の温室効果ガス排出量および吸収量の推移(1990~2008年)	50
図表2-1-6	温室効果ガスの平均濃度(2008年)	51
図表2-1-7	地球温暖化指数(GWP)	51
図表2-1-8	日本の京都議定書に基づく吸収源活動の排出・吸収量	51
図表2-1-9	主要国および各地域における温室効果ガスの排出量(2003年)	52
図表2-1-10	附属国 I 国における温室効果ガスの排出量の増減比(1990~2005年)	52

2 二酸化炭素(CO₂)

図表2-2-1	二酸化炭素CO ₂ の排出量	53
図表2-2-2	排出形態別・管理主体別の二酸化炭素CO ₂ の排出状況(2009年度)	54
図表2-2-3	二酸化炭素CO ₂ 排出量の排出部門の内訳表	54
図表2-2-4	各温室効果ガス排出量の部門別割合の変化(直接排出量・間接排出量)	54
図表2-2-5	二酸化炭素CO ₂ の部門別排出量の推移(間接排出量)	55
図表2-2-6	二酸化炭素CO ₂ の部門別排出量の推移(直接排出量)	55
図表2-2-7	大気中CO ₂ 濃度と人為的排出量(1980~2009年)	56
図表2-2-8	電源別のCO ₂ 排出量	56
図表2-2-9	非化石エネルギーの利用によるCO ₂ 排出抑制効果(2009年度)	56
図表2-2-10	二酸化炭素CO ₂ 総排出量および一人当たり排出量の推移(1990~2008年)	57
図表2-2-11	GDP当たり二酸化炭素CO ₂ 排出量の推移	57
図表2-2-12	主要国および各地域における二酸化炭素CO ₂ 排出量の推移	58
図表2-2-13	主要国および各地域における二酸化炭素CO ₂ の発生源別排出量	59

図表1-6-15	都市別熱中症患者数の推移	38
図表1-6-16	先進国と開発途上国の今後の排出量予測	38
図表1-6-17	2030年の部門別の排出削減ポテンシャルの推計値(要素技術積み上げ型の研究による)	38
図表1-6-18	2030年のマクロ経済影響予測	38
図表1-6-19	二酸化炭素濃度安定化のイメージ(模式図)	39
図表1-6-20	安定化水準の範囲に対する平衡状態の気温上昇	39
図表1-6-21	第3次評価以降の安定化シナリオとこれに伴う長期的な世界平均気温、海面水位上昇	39
図表1-6-22	各国の約束値と温室効果ガス排出状況	39

7 日本の地球温暖化対策の中期目標と世論調査

中期目標

出典)内閣府

図表1-7-1	世界のCO ₂ 排出量の現状	40
図表1-7-2	世界のCO ₂ 排出量の見通し	40
図表1-7-3	地球温暖化の中期目標	40
図表1-7-4	中期目標の6つの選択肢	41
図表1-7-5	必要な対策・政策—考え方	41
図表1-7-6	必要な対策・政策—具体案	41
図表1-7-7	経済影響のメカニズム	42
図表1-7-8	経済への影響の分析	42
図表1-7-9	CO ₂ 排出量の比較	42
図表1-7-10	6つの選択肢と長期目標との関係	43
図表1-7-11	各国の中長期目標	43
図表1-7-12	京都議定書の要点	44

世論調査

出典)内閣官房

図表1-7-13	「京都議定書」で温暖化ガスについて各国の削減目標が定められていることを知っているか	44
図表1-7-14	国が地球温暖化の中期目標を決定することについてどう思うか	44
図表1-7-15	家電や自動車を買う際、この中でどれを買いたいと思うか	44
図表1-7-16	CO ₂ 排出量の少ない製品を普及させるため、どのような政策をとるのがよいと思うか	45
図表1-7-17	地球温暖化対策のため、月当たりどの程度なら家計の負担が増えてもよいか	45
図表1-7-18	各国間で目標を公平に分担するため、どのような方法で排出量を割り当てるべきと思うか	45
図表1-7-19	日本の中期目標の選択肢および家計の収入と光熱費負担への影響	45
図表1-7-20	どのような観点を重視して中期目標を決定すべきと考えるか	45
図表1-7-21	国が発表した中期目標のうちどれを選ぶべきと考えるか	45

3 メタン(CH₄)

図表2-3-1	メタンCH ₄ の排出量	60
図表2-3-2	メタンCH ₄ 排出量の推移／対基準年増減／対前年比増減(1990～2008年度)	60
図表2-3-3	排出源別メタンCH ₄ の割合の変化	61

4 一酸化二窒素(N₂O)

図表2-4-1	一酸化二窒素N ₂ Oの排出量	62
図表2-4-2	一酸化二窒素N ₂ O排出量の推移／対基準年比増減／対前年比増減(1990～2008年度)	62
図表2-4-3	排出源別一酸化二窒素N ₂ Oの割合の変化	63

5 フッ化ガス(HFCs・PFCs・SF₆)

図表2-5-1	ハイドロフルオロカーボン類HFCsの排出量	64
図表2-5-2	排出源別ハイドロフルオロカーボン類HFCsの割合の変化	64
図表2-5-3	ハイドロフルオロカーボンHFCs排出量の推移(1995～2008年度)	64
図表2-5-4	パーフルオロカーボン類PFCsの排出量	65
図表2-5-5	排出源別パーフルオロカーボン類PFCsの割合の変化	66
図表2-5-6	パーフルオロカーボンPFCs排出量の推移(1995～2008年度)	66
図表2-5-7	六ふっ化硫黄SF ₆ の排出量	67
図表2-5-8	排出源別六ふっ化硫黄SF ₆ の割合の変化	67
図表2-5-9	六ふっ化硫黄SF ₆ 排出量の推移(1995～2008年度)	68

第3章 自然環境の変化

1 気温の変化

図表3-1-1	世界と日本の年平均気温の順位	70
図表3-1-2	世界全体・南北両半球における年・季節平均地上気温平年差の長期変化傾向	70
図表3-1-3	陸域における世界全体の年平均地上気温の各期間における長期変化傾向	70
図表3-1-4	日本の平均気温平年差の長期変化傾向	70
図表3-1-5	日本の日最高気温および日最低気温平年差の長期変化傾向	70

図表3-1-6	世界の年平均気温平年差の推移(1890～2010年)	71
図表3-1-7	世界の月別平均気温の平年差の推移(1891～2010年)	72
図表3-1-8	世界の主な観測点での月別平年気温値(1971年～2000年)	76
図表3-1-9	日本の月別平均気温の平年差の推移(1898～2010年)	80
図表3-1-10	日本の年平均地上気温平年差の推移(1898年～2010年)	84
図表3-1-11	最高気温の高いランキング	84
図表3-1-12	最高気温の低いランキング	84
図表3-1-13	最低気温の高いランキング	84
図表3-1-14	最低気温の低いランキング	84
図表3-1-15	気象官署別月別平均気温・相対湿度・日照時間	85
図表3-1-16	日最高気温・日最低気温の記録(統計開始年～2009年)	86
図表3-1-17	日最高気温25℃以上(夏日)の月別平年値(1971～2000年)	87
図表3-1-18	日最低気温25.0℃以上(熱帯夜)の月別平年値(1971～2000年)	88
図表3-1-19	日最高気温30℃以上(真夏日)の月別平年値(1971～2000年)	89
図表3-1-20	日最低気温0℃未満(冬日)の月別平年値(1971～2000年)	90
図表3-1-21	気象官署別日照時間, 天気日数の推移(1990～2008年)	91
図表3-1-22	2001年から2010年の日本の天候の特徴	92
図表3-1-23	過去10年間のサクラ開花日(2001～2010年の開花日と平年値)	94
図表3-1-24	ヒートアイランド現象の主な形成要因	95
図表3-1-25	自然状態と比較したときの日平均熱収支と原因	95
図表3-1-26	ヒートアイランド現象の形成要因と個別事業での影響要因	95
図表3-1-27	月平均気温でみた異常高温と異常低温長期変化傾向	96
図表3-1-28	日最高気温30℃以上および35℃以上の年間日数の長期変化傾向	96
図表3-1-29	日最低気温0℃未満および25℃以上の年間日数の長期変化傾向	96
図表3-1-30	日本の主要都市の熱中症による患者発生数(2008・2009年)	96
図表3-1-31	日本の主要都市の熱中症の性別・年齢別患者数(2008・2009年)	96
図表3-1-32	日本の主要都市の熱中症の重症度別患者数(2008・2009年)	96
図表3-1-33	温暖化とオゾン層破壊との関係およびその要因	97

図表3-1-34	日本上空のオゾン全量の年平均値の推移 (観測開始年～2008年) ……………	97
図表3-1-35	南極オゾンホール面積の年最大値の推移 (1979～2008年) ……………	97

図表3-2-27	各国および主要都市の二酸化硫黄SO ₂ 濃度の 推移(1980～2000年) ……………	116
----------	--	-----

2 降水量の変化

図表3-2-1	世界の年降水量平年比の推移(1880～2009 年) ……………	98
図表3-2-2	世界の主な観測点での月別平年降水量 ……	99
図表3-2-3	日本の年降水量の推移(1900～2004年) ……	101
図表3-2-4	日本の年降水量の平年比の推移 (1899～2010年) ……………	101
図表3-2-5	気象官署別の降水量・最深積雪 (1990～2008年) ……………	102
図表3-2-6	気象官署別の月別降水量・霜・雪 ……	103
図表3-2-7	日本の日降水量・1時間降水量の記録 (統計開始年～2009年) ……………	104
図表3-2-8	1時間降水量50mm以上の年間発生回数 (1000地点あたり) ……………	105
図表3-2-9	1時間降水量80mm以上の年間発生回数 (1000地点あたり) ……………	105
図表3-2-10	日降水量200mm以上の年間発生回数 (1000地点あたり) ……………	105
図表3-2-11	日降水量400mm以上の年間発生回数 (1000地点あたり) ……………	105
図表3-2-12	日降水量の出現頻度 (2007年12月～2008年3月) ……………	106
図表3-2-13	日本の51地点における確率降水量 ……	107
図表3-2-14	積雪の最深記録(統計開始年～2009年) ……	108
図表3-2-15	月降水量でみた異常多雨と異常少雨の長期変 化傾向 ……………	108
図表3-2-16	日降水量100mm以上および200mm以上の 年間日数の長期変化傾向 ……………	108
図表3-2-17	最大10分間降水量ランキング ……………	109
図表3-2-18	最大1時間降水量ランキング ……………	109
図表3-2-19	日降水量ランキング ……………	109
図表3-2-20	最大瞬間風速ランキング ……………	109
図表3-2-21	梅雨入り・明けの過去10年間の記録 (2000～2010年) ……………	110
図表3-2-22	酸性雨(降水の酸性度)発生のしくみ ……	111
図表3-2-23	日本の酸性雨の状況(1993～2007年度) ……	112
図表3-2-24	ヨーロッパの酸性雨の状況(1985～2007年) ……	113
図表3-2-25	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク (EANET)測定地点における年平均pH (2001～2007年) ……………	114
図表3-2-26	各国および主要都市の二酸化窒素NO ₂ 濃度の 推移(1980～2000年) ……………	115

3 海洋の変化

図表3-3-1	海洋の二酸化炭素吸収量(1980年代、1990 年代および2000～2005年の炭素の収支) ……	118
図表3-3-2	海洋の二酸化炭素濃度の長期変化傾向 ……	118
図表3-3-3	北西太平洋の二酸化炭素CO ₂ 濃度の長期変化 傾向(1984～2009年) ……………	118
図表3-3-4	大気—海洋間(太平洋赤道域)の二酸化炭素交 換量 ……………	119
図表3-3-5	大気—海洋間(北西太平洋亜熱帯域)の二酸化 炭素交換量 ……………	119
図表3-3-6	太平洋島嶼国地域の海面上昇 ……	119
図表3-3-7	海面水位の変動要因 ……	119
図表3-3-8	日本沿岸の海面水位の長期変化傾向 (1906～2009年) ……………	120
図表3-3-9	日本周辺の1960年以降の海域ごとの海面水 位変化(1960～2009年) ……………	120
図表3-3-10	日本各海域の年あたりの上昇率 ……	120
図表3-3-11	太平洋10年規模振動(PDO)指数冬期平均値 (1901～2010年) ……………	121
図表3-3-12	北太平洋回帰線水の変動(1972～2010年) ……	121
図表3-3-13	北太平洋亜熱帯モード水の経年変動 (1972～2007年) ……………	121
図表3-3-14	年平均海面水温(全球平均)の平年差の推移 (1891年～2009年) ……………	122
図表3-3-15	北太平洋の海面水温平年差の推移 (1891年～2009年) ……………	122
図表3-3-16	南太平洋の海面水温平年差の推移 (1891年～2009年) ……………	122
図表3-3-17	北大西洋の海面水温平年差の推移 (1891～2009年) ……………	123
図表3-3-18	南大西洋の海面水温平年差の推移 (1891～2009年) ……………	123
図表3-3-19	インド洋の海面水温平年差の推移 (1891～2009年) ……………	123
図表3-3-20	釧路沖の海域平均海面水温の長期変化傾向 (1908～2009年) ……………	124
図表3-3-21	三陸沖の海域平均海面水温の長期変化傾向 (1911～2009年) ……………	124
図表3-3-22	網走沖の海域平均海面水温の長期変化傾向 (1964～2009年) ……………	124
図表3-3-23	四国・東海沖南部の海域平均海面水温の長期 変化傾向(1911～2009年) ……………	125
図表3-3-24	日本海北東部の海域平均海面水温の長期変化 傾向(1901～2009年) ……………	125
図表3-3-25	日本海中部の海域平均海面水温の長期変化傾 向(1907～2009年) ……………	125

図表3-3-26	関東の東の海域平均海面水温の長期変化傾向(1906~2009年)	126
図表3-3-27	関東の南の海域平均海面水温の長期変化傾向(1905~2009年)	126
図表3-3-28	四国・東海沖北部の海域平均海面水温の長期変化傾向(1902~2009年)	126
図表3-3-29	日本海南部の海域平均海面水温の長期変化傾向(1901~2009年)	127
図表3-3-30	黄海の海域平均海面水温の長期変化傾向(1900~2009年)	127
図表3-3-31	東シナ海北部の海域平均海面水温の長期変化傾向(1900~2009年)	127
図表3-3-32	東シナ海南部の海域平均海面水温の長期変化傾向(1901~2009年)	128
図表3-3-33	先島諸島周辺の海域平均海面水温の長期変化傾向(1901~2009年)	128
図表3-3-34	海面上昇の影響を受ける日本の低地の面積・人口・資産	128
図表3-3-35	日本三大湾沿岸のゼロメートル地帯の拡大予測	128
図表3-3-36	海氷面積の極値	129
図表3-3-37	海水域面積の長期変化傾向(1979年~2010年)	129
図表3-3-38	エルニーニョ現象およびラニーニャ現象の発生期間(季節単位)	130
図表3-3-39	エルニーニョ監視海域における海面水温の基準値との差(1950~2009年)	130
図表3-3-40	エルニーニョ現象発生時の春(3~5月)の天候の特徴	131
図表3-3-41	エルニーニョ現象発生時の夏(6~8月)の天候の特徴	131
図表3-3-42	エルニーニョ現象発生時の秋(9月~11月)の天候の特徴	132
図表3-3-43	エルニーニョ現象発生時の冬(12~2月)の天候の特徴	132
図表3-3-44	ラニーニャ現象発生時の春(3~5月)の天候の特徴	133
図表3-3-45	ラニーニャ現象発生時の夏(6~8月)の天候の特徴	133
図表3-3-46	ラニーニャ現象発生時の秋(9月~11月)の天候の特徴	134
図表3-3-47	ラニーニャ現象発生時の冬(12月~2月)の天候の特徴	134
図表3-3-48	エルニーニョ現象発生時の梅雨期間の天候の特徴	135
図表3-3-49	ラニーニャ現象発生時の梅雨期間の天候の特徴	135
図表3-3-50	エルニーニョ現象とラニーニャ現象のしくみ	135

4 森林の状況

図表3-4-1	地球上の森林面積の割合	136
図表3-4-2	世界の森林面積の変化	136
図表3-4-3	各国の森林の面積	136
図表3-4-4	二酸化炭素CO ₂ 排出と森林(スギ)の二酸化炭素吸収量	137
図表3-4-5	二酸化炭素CO ₂ 固定量の比較	137
図表3-4-6	樹種別・林齢別炭素吸収量	137
図表3-4-7	住宅一戸当たりの材料製造時の炭素放出量と炭素貯蔵量(単位:炭素トン)	137
図表3-4-8	地球温暖化によるブナ林の適域、マツ枯れ危険域の変化の推移	137
図表3-4-9	森林の有する多面的機能	138
図表3-4-10	森林の有する機能の定量的評価	138
図表3-4-11	主な森林区分	139
図表3-4-12	全国森林計画の森林整備及び保全の目標	139
図表3-4-13	全国森林計画の計画量	139
図表3-4-14	森林整備保全事業計画の成果指標(2009年4月変更分)	140
図表3-4-15	森林資源量の推移(1951~2007年度)	140
図表3-4-16	間伐の実施状況	140
図表3-4-17	国有林野における間伐面積の推移	141
図表3-4-18	国有林野の森林土木工事における工事費1億円当たり木材利用量の推移	141
図表3-4-19	生物多様性の言葉の認知度	141
図表3-4-20	森林における生物多様性の保全及び持続可能な利用の推進方策(2009年7月)	141
図表3-4-21	保安林面積の推移(1953~2008年度)	141
図表3-4-22	都道府県別林野面積・林野率	142
図表3-4-23	都道府県別森林面積の現況	143
図表3-4-24	森林生態系保護地域の概要	144
図表3-4-25	国連における政府間対話の概要	145
図表3-4-26	モントリオール・プロセスの7基準54指標	145
図表3-4-27	違法伐採問題	145
図表3-4-28	JICA(国際協力機構)を通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト(内訳)	145
図表3-4-29	JICA(国際協力機構)を通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト(実施中)	146

5 自然災害の増加

図表3-5-1	20世紀以降の主な自然災害の状況	147
図表3-5-2	自然災害の内訳(1975～2007年)	147
図表3-5-3	地域別災害数の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-4	地域別被災者数の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-5	地域別死者数の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-6	地域別被害額の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-7	災害別災害数の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-8	災害別被災者数の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-9	災害別死者数の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-10	災害別被害額の割合(1975～2007年)	148
図表3-5-11	世界地域別にみた災害と被害傾向 (1975～2007年)	149
図表3-5-12	災害別にみた災害と被害傾向 (1975～2007年)	150
図表3-5-13	アジア地域の災害別災害数の割合(2007)	151
図表3-5-14	日本における自然災害による死者・行方不明者の推移(1945～2009年)	151
図表3-5-15	世界の災害に比較する日本の災害	152
図表3-5-16	世界で発生した自然災害による経済被害額 (2007年)	152
図表3-5-17	世界で発生した自然災害による被災者数 (2007年)	153
図表3-5-18	世界で発生した自然災害による被災者の人口 比率(2007年)	153
図表3-5-19	世界で発生した自然災害による死者数 (2007年)	154
図表3-5-20	世界で発生した自然災害による死者数の人口 比率(2007年)	154
図表3-5-21	日本における自然災害発生状況 (1994～2008年)	155
図表3-5-22	都道府県別自然災害被害状況(2008年)	155
図表3-5-23	日本の気象災害と年間被害合計(2009年)	156
図表3-5-24	日本の気象災害の推移(2000～2009年)	156
図表3-5-25	日本に大きな被害を与えた台風	156
図表3-5-26	台風の発生数・接近数・上陸数 (1951～2010年)	157
図表3-5-27	竜巻およびダウンバースト年別発生数 (1961～2009年)	158
図表3-5-28	竜巻およびダウンバースト発生時の気象条件 (1991～2009年)	158
図表3-5-29	竜巻およびダウンバーストの発生するしくみ	159
図表3-5-30	竜巻およびダウンバーストの月別発生数 (1991～2009年)	159

図表3-5-31	竜巻およびダウンバーストの時刻別発生数 (1991～2009年)	159
図表3-5-32	竜巻およびダウンバースト都道府県別発生確 認数(1991～2009年)	160
図表3-5-33	日本における土砂災害発生件数 (2002～2009年)	160
図表3-5-34	黄砂観測日数(1967～2010年)	160

第4章 社会生活の変化

1 エネルギー消費と二酸化炭素CO₂

図表4-1-1	エネルギーと国民生活・経済活動(2008年度)	162
図表4-1-2	部門別最終エネルギー消費の推移 (1990～2009年度速報値)	164
図表4-1-3	一次エネルギー国内供給の推移 (1990～2009年度速報値)	164
図表4-1-4	エネルギー起源 二酸化炭素CO ₂ 排出量の推移 (1990～2009年度速報)	166
図表4-1-5	エネルギー関連主要指標と最終エネルギー消 費量の推移	166
図表4-1-6	日本の部門別エネルギー消費量の推移	167
図表4-1-7	日本の一次エネルギー供給の長期推移	168
図表4-1-8	日本の燃料種別最終エネルギー消費の推移	168
図表4-1-9	日本の最終エネルギー消費の燃料種別構成	168
図表4-1-10	日本の最終エネルギー消費の部門別構成	169
図表4-1-11	日本の部門別最終エネルギー消費の推移	169
図表4-1-12	主要国の年代別平均エネルギー源別シェアの 推移	169
図表4-1-13	主要国の最終エネルギー消費量と構成比の推 移	170
図表4-1-14	主要国の一次エネルギー自給率の推移	170
図表4-1-15	石油依存度及び化石エネルギー依存度の推移	171
図表4-1-16	原子力エネルギー自給率の推移	171
図表4-1-17	一次エネルギーに占める電力の比率	171
図表4-1-18	家庭でのエネルギー消費量の推移	172
図表4-1-19	家庭用電力の伸び	172
図表4-1-20	家電製品保有状況の推移(中国・四国地区)	173
図表4-1-21	一世帯あたりの電力消費量の推移	173
図表4-1-22	一世帯あたりの待機時消費電力の内訳	173
図表4-1-23	家庭での電気利用の内訳	173
図表4-1-24	家庭からの二酸化炭素排出量	173

2 一次エネルギー(化石燃料)の動向

図表4-2-1	OPEC(石油輸出国機構)加盟国の概要……………	174	図表4-3-4	再生可能エネルギーの開発と現状 (2009年度末) ……………	183
図表4-2-2	月平均主要原油スポット価格、OPECバス ケット価格の推移(2008～2009年) ……………	174	図表4-3-5	発電によるCO ₂ 排出抑制効果(2008年度) ……	183
図表4-2-3	月平均原油価格の推移(1980～2010年) ……	175	図表4-3-6	世界の一次エネルギー消費量の地域別推移と 見通し(1990～2030年) ……………	184
図表4-2-4	国際石油需要の見通し(1980～2030年) ……	175	図表4-3-7	世界の燃料別エネルギー需要の見通し (1990～2030年) ……………	184
図表4-2-5	世界の原油生産量(2009年) ……………	176	図表4-3-8	主要国の石炭生産量の推移(1981～2009年) ……	184
図表4-2-6	世界の原油確認埋蔵量と可採年数 (2009年現在) ……………	176	図表4-3-9	世界の人口の地域別推移と見通し (2000～2050年) ……………	184
図表4-2-7	日本の石油製品別(燃料油)需要の推移 (1973～2008年度) ……………	177	図表4-3-10	米国の天然ガス生産量の推移 (1990～2030年予測) ……………	184
図表4-2-8	石油製品の用途別国内需要(2008年度) ……	177	図表4-3-11	世界の再生可能エネルギーの推移 (1997～2009年) ……………	184
図表4-2-9	日本の原油輸入量、原油輸入金額の推移 (1973～2008年度) ……………	177	図表4-3-12	主要国の一次エネルギー源(2007年) ……	185
図表4-2-10	日本の原油輸入量とOPEC依存度・中東依存 度の推移(1973～2008年) ……………	178	図表4-3-13	主要国のエネルギー輸入依存度(2008年) ……	185
図表4-2-11	石油製品別輸入・輸出構成比(2008年度) ……	178	図表4-3-14	主要国の1人当たりの電力消費量(2007年) ……	185
図表4-2-12	主要石油製品の国別輸入・輸出構成比 (2008年度) ……………	178	図表4-3-15	主要国の国別電力消費量(2007年) ……	185
図表4-2-13	日本の国別原油輸入比率の推移 (1973～2008年度) ……………	179	図表4-3-16	主要国の電源別発電電力量の構成(2007年) ……	185
図表4-2-14	日本の供給者別原油輸入比率の推移 (1973～2008年度) ……………	179	図表4-3-17	各国の発電電力量比較……………	186
図表4-2-15	主要消費国の一次エネルギー消費構成比 (2008年) ……………	180	図表4-3-18	日本の一次エネルギー消費の推移 (1965～2007年) ……………	187
図表4-2-16	世界の国別石油消費量の推移 (1985～2008年) ……………	180	図表4-3-19	主要国の一次エネルギー供給量とエネルギー 自給率(2008年) ……………	187
図表4-2-17	日本の環境規制と石油業界の設備投資額……………	180	図表4-3-20	日本の10電力会社の概要(2009年度) ……	187
図表4-2-18	国別のエネルギー起源二酸化炭素排出 (2007年) ……………	181	図表4-3-21	日本の電源種別 別設備構成比(2009年度末) ……	188
図表4-2-19	ディーゼルエンジンとガソリンエンジンの燃 費比較……………	181	図表4-3-22	日本の電源種別 別発電電力量構成比 (2009年度末) ……………	188
図表4-2-20	ディーゼルシフトによるCO ₂ 削減効果(試算) 181		図表4-3-23	日本の石炭の地域別輸入比率(2008年度) ……	188
図表4-2-21	日欧のディーゼル乗用車販売比率の推移 (1990～2004年) ……………	181	図表4-3-24	日本の発電用石炭消費量の推移 (1951～2008年) ……………	188
図表4-2-22	主要国のバイオエタノール自給率……………	182	図表4-3-25	日本のLNGの地域別輸入比率(2008年度) ……	188
図表4-2-23	LCAのバイオエタノールの温室効果ガス削 減効果……………	182	図表4-3-26	日本の発電用LNG消費量の推移 (1970～2008年) ……………	188
図表4-2-24	今後のバイオ燃料の導入予定……………	182	図表4-3-27	各種電源の1kWhあたりのCO ₂ 排出量(送電 機) ……………	189
			図表4-3-28	日本の電気事業におけるCO ₂ 排出実績と見通 し(1990～2012年) ……………	189
			図表4-3-29	日本の電力会社からのCO ₂ 排出量推移 (1970～2008年) ……………	189
			図表4-3-30	日本の電源別CO ₂ 排出原単位……………	189
			図表4-3-31	各国別の総発電電力量に占める原子力発電の 割合(2009年) ……………	189
			図表4-3-32	日本の原子力発電所の設備利用率の推移 (1980～2008年) ……………	190
			図表4-3-33	主要国のプルサーマル実績(装荷体数) (2008年) ……………	190
			図表4-3-34	日本の原子力発電所の運転・建設状況 (2010年9月末)……………	190

3 エネルギー資源の動向

図表4-3-1	エネルギー源の種類……………	183
図表4-3-2	エネルギー資源の主な特徴……………	183
図表4-3-3	需給運用上の電源の主な特性……………	183

図表4-3-35	日本の火力発電の熱効率の推移 (1951～2008年) ……………	190
図表4-3-36	火力発電所の熱効率の各国比較……………	191
図表4-3-37	日本の再生可能エネルギー導入可能量の見通し……………	191
図表4-3-38	新エネルギーのメリット・デメリット……………	191
図表4-3-39	主要国の新エネルギー導入量(2009年末) ……	191
図表4-3-40	日本の風力・太陽光発電からの電力購入量の推移(10電力) ……………	191
図表4-3-41	世界の太陽光発電導入量……………	192
図表4-3-42	太陽電池生産量の国際比較(2008年) ……………	192
図表4-3-43	日本の太陽光発電導入量(出力)の推移 (1992～2008年) ……………	192
図表4-3-44	日本の風力発電導入量(出力)の推移 (1993～2008年) ……………	192
図表4-3-45	風力発電導入量の国際比較(2008年末) ……	192
図表4-3-46	世界の再生可能エネルギー導入計画……………	193
図表4-3-47	新エネルギー等電気の利用目標……………	193
図表4-3-48	日本のメガソーラーの設置状況……………	193
図表4-3-49	日本の電気事業の廃棄物の発生量と再資源化率(2009年度) ……………	193

4 廃棄物・ごみ処理の動向

図表4-4-1	各国の一般廃棄物処分状況……………	194
図表4-4-2	各国の一般廃棄物構成割合……………	195
図表4-4-3	ごみ処理方法の推移(1998～2008年度) ……	196
図表4-4-4	総資源化量とリサイクル率の推移 (1998～2008年度) ……………	196
図表4-4-5	一般廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数の推移(1998～2008年度) ……………	196
図表4-4-6	全国のごみ処理のフロー(2008年度) ……	197
図表4-4-7	ごみの排出状況(1999～2008年度) ……	197
図表4-4-8	市町村等によるごみの資源化の状況 (2008年度) ……………	197
図表4-4-9	住民団体等による資源回収の状況 (2008年度) ……………	197
図表4-4-10	都道府県別ごみ処理の状況(2008年度) ……	198
図表4-4-11	1人1日当たりごみ排出量の推移 (1999～2008年度) ……………	198
図表4-4-12	最終処分量と1人1日当たり最終処分量の推移(1999～2008年度) ……………	199
図表4-4-13	リデュース(1人1日当たりのごみ排出量)の取り組みの上位10位市町村(2008年) ……	200
図表4-4-14	リサイクル(リサイクル率)の取り組みの上位10位市町村(2008年) ……………	200

図表4-4-15	エネルギー回収(ごみ処理当たりの発電電力量)の取り組みの上位10位施設(2008年) ……	200
図表4-4-16	ごみ焼却施設の炉型別施設数の推移 (1999～2008年度) ……………	201
図表4-4-17	ごみ焼却施設の炉型別処理能力の推移 (1999～2008年度) ……………	201
図表4-4-18	ごみ焼却施設の処理方式別施設数の推移 (1999～2008年度) ……………	201
図表4-4-19	ごみ焼却施設の余熱利用状況 (1999～2008年度) ……………	202
図表4-4-20	ごみ焼却施設の発電の状況 (1999～2008年度) ……………	202
図表4-4-21	ごみ処理区分別の委託状況(2008年度) ……	202
図表4-4-22	し尿処理形態別人口の推移 (1999～2008年度) ……………	203
図表4-4-23	し尿処理状況の推移(1999～2008年度) ……	203

5 水資源・水循環の変化

図表4-5-1	地球上の水の量……………	204
図表4-5-2	世界の水需要の予測……………	204
図表4-5-3	温暖化による水資源への影響……………	204
図表4-5-4	水使用形態の区分……………	205
図表4-5-5	日本の水資源賦存量と使用量……………	205
図表4-5-6	トイレの水使用量の変化……………	205
図表4-5-7	食器洗い乾燥機出荷台数の推移 (1995～2009年度) ……………	205
図表4-5-8	日本の水使用量の推移……………	205
図表4-5-9	都市用水使用量の推移(1965～2007年) ……	206
図表4-5-10	生活用水使用量の推移(1965～2007年度) ……	206
図表4-5-11	現在給水人口と普及率の推移 (1975～2007年度) ……………	206
図表4-5-12	工業用水使用量等の推移(1965～2007年) ……	207
図表4-5-13	地域別工業用水淡水補給量の推移 (1975～2007年度) ……………	207
図表4-5-14	農業用水量の推移(1975～2007年) ……	207
図表4-5-15	各国の水資源量……………	208
図表4-5-16	公共用水域の水質測定項目……………	209
図表4-5-17	トリハロメタン生成能……………	209
図表4-5-18	生活環境項目の測定項目……………	209
図表4-5-19	指定湖沼について……………	209
図表4-5-20	環境基準の達成状況……………	210
図表4-5-21	環境基準達成率の推移(1974～2009年度) ……	210
図表4-5-22	水域群別水質の推移(1979～2009年度) ……	211

図表4-5-23	指定湖沼の水質状況の推移 (2000～2009年度) ……………	211
図表4-5-24	湖沼における全窒素及び全燐の濃度推移 (1984～2009年度) ……………	211
図表4-5-25	世界の主な河川の水質……………	212
図表4-5-26	世界の主な湖沼の水質……………	213

6 エネルギー効率の国際比較

図表4-6-1	為替レートGDP当たりの一次エネルギー供給量の国際比較(2004年) ……………	214
図表4-6-2	製造業のエネルギー消費効率……………	214
図表4-6-3	人口一人当たりのGDP / 1次エネルギー供給量(2004年) ……………	215
図表4-6-4	各国のGDP(PPPレート)当たり一次エネルギー供給量の比較(2004年) ……………	215
図表4-6-5	GDP当たりのCO ₂ 排出量(2006年) ……………	215
図表4-6-6	GDP当たりの一次エネルギー供給量(2006年) ……………	215
図表4-6-7	参加業種におけるエネルギー効率の国際比較…	216
図表4-6-8	主要業種のエネルギー利用効率の国際比較…	216
図表4-6-9	「照明」のエネルギー効率と電力消費量(2006年時点) ……………	217
図表4-6-10	鉄鋼業におけるエネルギー原単位比較……………	217
図表4-6-11	鉄鋼業における省エネルギー設備普及率比較…	217
図表4-6-12	世界鉄鋼業におけるCO ₂ 削減ポテンシャル…	217
図表4-6-13	都市ガス販売量の推移……………	218
図表4-6-14	都市ガス販売量の用途別構成比……………	218
図表4-6-15	実質国内総生産と最終エネルギー消費(1998年度を100とした場合) ……………	218
図表4-6-16	都市ガス内訳の推移(原料別)……………	218
図表4-6-17	原料消費量の推移……………	218
図表4-6-18	天然ガス確認埋蔵量(2009年) ……………	219
図表4-6-19	一次エネルギー供給の推移と見通し……………	219
図表4-6-20	LNG(液化天然ガス)輸入実績 ……………	219
図表4-6-21	LNG(液化天然ガス)輸入量の内訳 ……………	219
図表4-6-22	化石燃料の燃焼生成物等発生量の比較……………	219
図表4-6-23	家庭用ガス販売量の推移……………	220
図表4-6-24	業務用ガス販売量の推移……………	220
図表4-6-25	ガスコージェネレーションの普及推移……………	220

7 生物多様性の状況

図表4-7-1	世界の絶滅のおそれのある野生生物の種の割合……………	221
図表4-7-2	日本の絶滅のおそれのある野生生物の種の割合(評価対象種に占める割合)……………	221
図表4-7-3	ワシントン条約締約国数の推移……………	222
図表4-7-4	種の絶滅速度……………	222
図表4-7-5	国際的な取り組みの経緯と動向……………	222
図表4-7-6	生物多様性の回復イメージ……………	222
図表4-7-7	有職者アンケートによる生物多様性の主な影響要因……………	223
図表4-7-8	生物多様性総合評価の指標……………	223
図表4-7-9	石西礁湖におけるサンゴの白化と温度の関係	224
図表4-7-10	ハマグリ類の漁獲量の推移……………	224
図表4-7-11	農地・草原の面積の推移……………	224
図表4-7-12	主な湖沼の湖岸の改変状況……………	224
図表4-7-13	南西諸島における固有種と絶滅危惧種の割合…	224

第5章 地球温暖化対策・取り組み

1 地球温暖化防止の施策および進捗状況

図表5-1-1	京都議定書目標達成計画に基づく取り組み…	226
図表5-1-2	京都議定書目標達成計画における主な対策・施策……………	227
図表5-1-3	エネルギー起源二酸化炭素CO ₂ 対策の進捗状況……………	228
図表5-1-4	非エネルギー起源二酸化炭素CO ₂ 対策の進捗状況……………	234
図表5-1-5	メタンCH ₄ 対策の進捗状況……………	234
図表5-1-6	一酸化二窒素N ₂ O対策の進捗状況……………	235
図表5-1-7	代替フロン等3ガス(フッ化ガス)対策の進捗状況……………	235
図表5-1-8	温室効果ガス吸収源対策の進捗状況……………	235
図表5-1-9	地球温暖化対策推進法の改正による推進…	235

2 地球温暖化防止の研究と中期目標に関する調査

地球温暖化影響に関する研究
出典)環境省地球環境研究総合推進費戦略的研究
開発プロジェクト

図表5-2-1	各シナリオ別の推移と予測	236
図表5-2-2	洪水氾濫による影響	237
図表5-2-3	土砂災害による影響	237
図表5-2-4	森林への影響	238
図表5-2-5	農業への影響	238
図表5-2-6	海面上昇による影響	238
図表5-2-7	海面上昇による高潮浸水人口・面積・被害額の推測	239
図表5-2-8	健康への影響	240
図表5-2-9	地球温暖化影響のまとめ	240
図表5-2-10	日本の国土利用の現状と推移(1985～2008年)	241
図表5-2-11	土地利用転換の概況(1991～2008年)	241
図表5-2-12	対策別二酸化炭素CO ₂ 削減量と費用	242
図表5-2-13	財源の裏づけのある支援措置	242
図表5-2-14	国内製造業のコストアップ	242
図表5-2-15	建築物の省エネ	243
図表5-2-16	次世代自動車・燃費向上	243
図表5-2-17	省エネ家電	243
図表5-2-18	省エネIT機器	243
図表5-2-19	高効率給湯器(家庭用)	244
図表5-2-20	太陽光発電	244
図表5-2-21	風力発電	244
図表5-2-22	製鉄革新技術	244
図表5-2-23	化学工業革新技術	244
図表5-2-24	原子力発電	245

地球温暖化対策の中期目標

出典)国立国会図書館 農林研究課

図表5-2-25	日本の京都議定書目標、実績および中期目標の比較	245
図表5-2-26	欧米との中期目標の比較	245
図表5-2-27	中期目標の各選択肢の概要	245

日本の中期目標に関する国際世論調査

出典)ジャパン・フォー・サステナビリティ

図表5-2-28	日本は、6つの選択肢のうちどれを選ぶべきと思うか	246
図表5-2-29	選択肢を選んだ理由、および意見(趣旨別)	246

図表5-2-30	選択肢を選んだ理由および意見(自由回答より抜粋)	246
----------	--------------------------	-----

第6章 意識調査・アンケート

1 地球環境問題

旭硝子財団「第19回地球環境問題と人類の存続に関するアンケート」
2010年4月～6月調査、世界各国の政府・自治体、非政府組織、大学・研究機関、企業等で環境問題に関わる有識者対象

図表6-1-1	環境危機時計(現在の地球環境の悪化にともなう人類存続の危機の程度を時計の針に例えると?)	248
図表6-1-2	危機時計の経年変化	248
図表6-1-3	環境危機時刻の推移	249
図表6-1-4	各地域の危機時刻	249
図表6-1-5	2010年における地球環境を考慮した時に念頭においた項目(複数回答・3つ以内)	250
図表6-1-6	「アジェンダ21」行動計画10項目の進捗状況(「大いに発展した」+「ある程度進展した」の合計%)	250
図表6-1-7	「アジェンダ21」2010年と2005年～2009年平均の進展度の差	251
図表6-1-8	COP15/「コペンハーゲン合意」とその影響に対する評価	251
図表6-1-9	COP15/「コペンハーゲン合意」を評価できる理由	252
図表6-1-10	COP15/「コペンハーゲン合意」を評価できない理由	252
図表6-1-11	COP会議プロセスへの意見	253
図表6-1-12	COP16の成功の目安	253
図表6-1-13	気候研究機関メール流出事件	254
図表6-1-14	人と生物多様性の関わり合いについて	254
図表6-1-15	「COP10」に対する期待	255
図表6-1-16	ポストCOP10の目標として取り上げるべき事項	255

2 生活の中における環境問題

環境省 総合環境政策局「環境にやさしいライフスタイル実態調査」
2010年2月調査 全国の20歳以上男性800、女性800人 計1,600人

図表6-2-1	近年の環境の状況についての実感	256
図表6-2-2	地域レベルの環境の状況についての実感	257
図表6-2-3	近年の環境悪化を実感する理由	257
図表6-2-4	地域レベルの環境悪化を実感する理由	258
図表6-2-5	国レベルの環境の状況についての実感	260

図表6-2-6	国レベルの環境悪化を実感する理由……………	261
図表6-2-7	地域レベルの環境の状況についての実感……………	263
図表6-2-8	地球レベルの環境悪化を実感する理由……………	264
図表6-2-9	関心のある環境問題……………	266
図表6-2-10	環境情報への評価……………	268
図表6-2-11	環境情報への満足度(「十分満足している」、 「まあ満足している」割合の合計)……………	268
図表6-2-12	国の環境行政への評価……………	271
図表6-2-13	地方公共団体の環境行政への評価……………	272
図表6-2-14	国の環境行政に対して今後求めること……………	273
図表6-2-15	地方公共団体の環境行政に対して今後求める こと……………	275

3 環境問題に関する世論調査

内閣府大臣官房政府広報室「環境問題に関する世
論調査」2009年6月調査、全国20歳以上3,000人

図表6-3-1	ごみの問題への関心……………	278
図表6-3-2	3Rの言葉の認知度……………	278
図表6-3-3	普段の暮らしの中でのごみとの関わり方……………	278
図表6-3-4	ごみを少なくするためにしていること……………	279
図表6-3-5	再使用や再生利用のためにしていること……………	279
図表6-3-6	環境にやさしい製品の購入(グリーン購入)の 意識……………	279
図表6-3-7	循環型社会の形成についての意識……………	279
図表6-3-8	ごみ問題の具体的な認知度……………	280
図表6-3-9	国の施策の方向性についての意識……………	280
図表6-3-10	国の具体的な施策についての意識……………	280

4 水と生活

ミツカン水の文化センター「水にかかわる生活
意識調査」2009年6月調査、東京圏、大阪圏、中京
圏在住の20歳代から60歳代の男女

図表6-4-1	地球温暖化による危機感……………	281
図表6-4-2	100年後の水をとりまく環境……………	281
図表6-4-3	地球温暖化ストップのために払ってもよい額 (月額)……………	281
図表6-4-4	水に関する不安・心配……………	281
図表6-4-5	きれいで安全な水を残すために必要なこと……………	281
図表6-4-6	家庭で行っている水質保全への配慮……………	282
図表6-4-7	家庭での節水・水の再利用状況……………	282
図表6-4-8	家庭での節水・水の再利用の方法別実施率……………	282
図表6-4-9	水に関わる認知・経験……………	282
図表6-4-10	家の近くの水辺の変化……………	282
図表6-4-11	水辺の自然が最も損なわれていると思う都道 府県トップ3……………	282

5 低炭素社会

内閣府政府広報室「低炭素社会に関する特別世論
調査」の概要
2007年5月—6月調査 全国20歳以上の3000人

図表6-5-1	「低炭素社会」という言葉を知っていたか……………	283
図表6-5-2	低炭素社会をつくるための重要な取組……………	283
図表6-5-3	低炭素社会で暮らしがどうなると思うか……………	283
図表6-5-4	低炭素社会を実現すべきと思うか……………	283
図表6-5-5	低炭素社会づくりに係る家計の負担……………	283
図表6-5-6	日本と世界の国々の排出削減……………	283

6 クールビズ

㈱アイシェア「クールビズ—2010年版—に関する
意識調査」
2010年6月調査、ネットユーザー20~40代男女
446名対象

図表6-6-1	現在仕事をしているか……………	284
図表6-6-2	(仕事をしている人へ)勤め先ではどんな服装 で働くことが最も多いか……………	284
図表6-6-3	(仕事をしている人へ)勤め先ではクールビズ を導入しているか……………	284
図表6-6-4	(仕事をしている人へ)勤め先の室温はどう感 じることが最も多いか……………	285
図表6-6-5	クールビズが実施されてから自宅でも意識し て気を使うようになったか……………	285

7 ウォームビズ

㈱アイシェア「ウォームビズ—2010年版—に関す
る意識調査」2010年10月調査、ネットユーザー20
~40代男女615名対象

図表6-7-1	現在仕事をしているか……………	286
図表6-7-2	(仕事をしている人へ)勤め先ではウォームビ ズを導入しているか……………	286
図表6-7-3	(仕事をしている人へ)勤め先の室温はどう感 じることが最も多いか……………	286
図表6-7-4	ウォームビズが実施されてから自宅でも意識 して気を使うようになったか……………	287
図表6-7-5	今後ウォームビズは定着すると思うか……………	287

8 小・中学生のエコ意識

㈱ネットマイル「エコについての調査レポート」
2010年7月調査、バンダイネットワークス運営の
小中学生中心の情報サイト「サークルリンク」内
で実施

図表6-8-1	「エコ」や「エコロジー」という言葉を聞いたこ とがあるか……………	288
図表6-8-2	エコ(環境問題)について学んだことがあるか……………	288
図表6-8-3	「エコ」と聞いて思いつくイメージ……………	288

図表6-8-4	実際にやっているエコ……………	288
図表6-8-5	もっと取りくんでいけばいいと思うエコ活動…	289
図表6-8-6	思いつくエコ製品……………	289
図表6-8-7	「エコポイント」について知っているか……………	289
図表6-8-8	エコポイントを気にして買い物をしたり、買い物をする予定はあるか……………	289

9 自動車環境対策

東北運輸局「自動車交通分野における環境対策アンケート」
2010年10月調査、エコプロダクツ東北2010ブース来場者中382名

図表6-9-1	自動車の使用方法……………	290
図表6-9-2	(自動車を運転する人へ)自動車を運転する際、排出されて二酸化炭素が地球温暖化に影響を与えることを気にするか……………	290
図表6-9-3	エコドライブ(環境にやさしい運転方法)に関して実践していること……………	290
図表6-9-4	自動車から排出される二酸化炭素を削減するために「これから実施したい」または「このまま継続していきたい」と思うこと……………	291
図表6-9-5	自動車部門において二酸化炭素排出量を削減するために一番効果的だと思われる対策……………	291

10 企業の環境意識

環境省総合環境政策局環境経済課「環境にやさしい企業行動調査」
2010年8月～9月調査、東京・大阪・名古屋の各証券取引所の1部、2部上場企業及び従業員数500人以上の非上場企業等対象

図表6-10-1	企業の環境への取組と企業活動のあり方……………	292
図表6-10-2	環境に関する経営方針の制定……………	293
図表6-10-3	環境に関する具体的な目標の制定……………	293
図表6-10-4	把握している環境負荷データ……………	293
図表6-10-5	環境保全のために実施している取組の内容……………	294
図表6-10-6	環境保全に関する担当……………	295
図表6-10-7	製品やサービスについて環境に関する情報提供の方法……………	295
図表6-10-8	環境に配慮した原材料、物品・サービス等の選定(グリーン購入)……………	295
図表6-10-9	環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001規格」の認証の取得状況……………	295
図表6-10-10	「ISO14001規格」の認証取得による効果……………	295
図表6-10-11	環境会計の導入企業数及びその割合の推移……………	296
図表6-10-12	環境会計の導入状況……………	296
図表6-10-13	環境報告書を作成・公表している企業数及びその割合の推移……………	296
図表6-10-14	環境配慮促進法及びその内容の認知状況……………	296

図表6-10-15	環境やCSRに関するデータ、取組等の情報の公開状況……………	296
図表6-10-16	環境報告書を作成・公表しているか(環境やCSRに関するデータ、取組等を公開している企業対象)……………	296
図表6-10-17	環境報告書配布先(環境やCSRに関する情報を公開している企業対象)……………	296
図表6-10-18	環境ビジネスの位置付け……………	297
図表6-10-19	環境ビジネスの進展上の問題(環境ビジネスの位置付けをよくわからないと回答、もしくは回答なしとした企業以外対象)……………	297
図表6-10-20	環境ビジネス進展のために行政に望む支援(環境ビジネスの位置付けをよくわからないと回答、もしくは回答なしとした企業以外対象)……………	297
図表6-10-21	地球温暖化防止への取組状況……………	298
図表6-10-22	「地球温暖化対策の推進に関する法律」で規定されている温室効果ガス排出抑制のための計画作成と公表について……………	299
図表6-10-23	環境税導入に対しての賛否……………	300
図表6-10-24	環境税導入に反対の理由(導入に反対の企業対象)……………	301
図表6-10-25	環境税導入のために必要と考える条件……………	301
図表6-10-26	国内排出量取引制度導入に対しての賛否……………	302
図表6-10-27	国内排出量取引制度導入に反対の理由(導入に反対の企業対象)……………	303
図表6-10-28	国内排出量取引制度導入のために必要と考える条件……………	303

11 企業の環境報告書

経済産業省産業技術環境局 環境調和産業推進室「環境報告書プラザに関するアンケート調査」
2009年8月調査、環境報告書掲載および掲載予定企業対象

図表6-11-1	自社報告書の掲載の認知状況……………	304
図表6-11-2	環境報告書プラザの利用頻度……………	304
図表6-11-3	環境報告書プラザの利用目的……………	304
図表6-11-4	ウェブサイト改善への要望……………	304
図表6-11-5	環境コミュニケーション基盤としての評価に関して……………	304
図表6-11-6	環境報告書等と企業評価に関して……………	304

12 地方公共団体の取組

経済産業省 産業技術環境局「環境報告書プラザに関するアンケート調査」
2010年2月～3月調査 全国の地方公共団体1,825団体対象

図表6-12-1	環境施策の基本となる条例の策定状況……………	305
図表6-12-2	環境施策の基本となる計画の策定状況……………	305

図表6-12-3	環境施策の基本となる計画の策定に関連する基本計画の参考状況……………	305	図表6-13-8	国全体で「省エネルギー」を進めるため重要だ と思うこと……………	319
図表6-12-4	環境施策の基本となる条例及び計画の策定に 当たり住民等からの意見取入の実施状況……………	305	図表6-13-9	環境省が呼びかけている「ウォームビズ」を 知っているか……………	319
図表6-12-5	環境施策の基本となる計画の事業者や住民等 への普及・啓発活動の実施状況……………	305	図表6-13-10	高効率石油給湯機「エコフィール」のことは 知っていたか……………	319
図表6-12-6	環境施策の基本となる計画に基づく施策の実 施状況の点検……………	305			
図表6-12-7	環境施策の実施状況……………	306			
図表6-12-8	環境施策に関連する情報の整備及び提供の取 組……………	307			
図表6-12-9	環境施策推進過程における住民等の意見取入 の方法：全体……………	308			
図表6-12-10	環境施策に関連する情報提供の方法：全体…	308			
図表6-12-11	環境施策に関連する情報提供の方法：その他…	308			
図表6-12-12	環境施策推進過程における住民等の意見取入 の方法：その他……………	308			
図表6-12-13	環境保全に係る取組への参加人数……………	308			
図表6-12-14	事業者との連携・協働の実施状況……………	309			
図表6-12-15	事業者との連携・協働に至った経緯……………	310			
図表6-12-16	住民、住民団体との連携・協働の実施状況 ……	311			
図表6-12-17	住民、住民団体との連携・協働に至った経緯…	312			
図表6-12-18	民間団体(環境NPO等)との連携・協働の実 施状況……………	313			
図表6-12-19	民間団体(環境NPO等)との連携・協働に至っ た経緯……………	314			
図表6-12-20	民間団体(環境NPO等)を対象とした支援・ 育成施策の実施状況……………	315			
図表6-12-21	都道府県、政令市との連携・協働の実施状況…	316			
図表6-12-22	市区町村との連携・協働の実施状況……………	317			

13 省エネルギー

石油連盟「2009年度第3回アンケート「省エネ
ギー」について」
2010年2月—3月調査、10代～70代の男女8,216
人

図表6-13-1	生活の中で「省エネルギー」を意識して実践し ているか……………	318
図表6-13-2	「省エネルギー」することである程度我慢せざ るを得ないと思うこと……………	318
図表6-13-3	「省エネルギー」という言葉にもつイメージ ……	318
図表6-13-4	便利で快適な生活を多少我慢してでも「省エ ネルギー」に努めたいと思うか ……	318
図表6-13-5	「省エネルギー」のために実行していること ……	318
図表6-13-6	「省エネルギー」を実践した結果、以前と比べ てエネルギー使用量をどの程度減らすことが できたか……………	319
図表6-13-7	「省エネルギー」を進める最大の目的……………	319